

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月31日

会社名 株式会社SBI証券 URL <http://www.sbisecc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 正人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 杉本 孝元 TEL 03-5562-7210
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	125,099	7.6	118,013	9.0	45,529	1.7	45,642	1.9	30,680	△17.3
2021年3月期第3四半期	116,273	32.5	108,251	37.0	44,784	62.8	44,795	60.9	37,099	107.1

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 31,941百万円 (△14.0%) 2021年3月期第3四半期 37,139百万円 (103.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	8,842 67	—
2021年3月期第3四半期	10,692 98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	4,111,951	263,310	6.3	74,615 93
2021年3月期	4,251,690	232,735	5.4	67,079 20

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 258,884百万円 2021年3月期 228,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0 00	—	0 00	10,087 74
2022年3月期	—	0 00	—	—	—

(注1) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

(注2) 当社は2021年3月15日を基準日として配当を行っておりますが、その内訳は以下のとおりであります。

基準日	2021年3月15日	合計
1株当たり配当額	10,087円74銭	10,087円74銭
配当総額	35,000百万円	35,000百万円

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

当社グループの主たる事業である証券業の業績は株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、業績予想を行うことが困難であることから、開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料13ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	3,469,559株	2021年3月期	3,469,559株
2022年3月期3Q	一株	2021年3月期	一株
2022年3月期3Q	3,469,559株	2021年3月期3Q	3,469,559株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	12
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(会計方針の変更)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（経営成績に関する説明）

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大がおおよそ一服し、経済活動が正常化に向かう中で各種政策の効果や海外経済の影響もあって景気は徐々に回復しつつあります。4月には3度目の緊急事態宣言が発令され、経済活動は一気に停滞いたしました。ところが、6月以降ワクチン接種が促進されたことや、菅元首相が7月に退陣を表明し、さらに9月には次期総裁選不出馬を表明したこと、さらに新型コロナウイルスの感染者数が激減したことにより、経済回復への期待が高まり、景気は持ち直しの動きが見られました。しかしながら、原材料価格の高騰による景気下振れリスクや新型コロナウイルスの変異株をはじめ、感染症による内外経済への影響に十分注視する必要があります。

日経平均株価は、10月には原油を中心とした国際商品価格が上昇、米原油先物は一時1バレル82ドル台に乗せ約7年ぶりの高値を付けました。一連の原油高を受けて、米長期金利の先行感が高まったことが株価の重荷となりました。11月に入り、新型コロナウイルスの新たな変異ウイルス「オミクロン株」が確認されると、感染の再拡大に対する警戒感が高まり、株価は大幅に続落する動きが続き、29,000円台を割り込む展開となりました。しかしながら、12月に入るとオミクロン株への過度な警戒感が和らいだことから29,000円を回復いたしました。さらに円相場が1ドル＝114円台後半まで円安・ドル高が進み、輸出関連株の採算改善への期待も相場にプラスとなりました。

2021年12月末の日経平均株価は28,791円となり、2021年3月末と比較して1.33%下落して取引を終えております。

このような環境下ではありますが、当社におきましては、「顧客中心主義」に基づいた魅力ある商品・サービス・手数料体系の提供に努めた結果、2021年12月末の預り資産は19兆2,937億円となっております。

業績に関しましては、国内株式の委託手数料率の低下により、当第3四半期連結累計期間の「委託手数料」は30,088百万円（前年同期比7.6%減）、信用取引に係る収益の増加により「金融収益」は33,291百万円（同16.9%増）、投資信託の代行手数料等の増加により「その他受入手数料」は20,113百万円（同42.2%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益125,099百万円（前年同期比7.6%増）、純営業収益118,013百万円（同9.0%増）、営業利益45,529百万円（同1.7%増）、経常利益45,642百万円（同1.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益30,680百万円（同17.3%減）となっております。

当第3四半期連結累計期間の主な取り組みは以下のとおりであります。

- ・人気の低コストファンドの「投信マイレージ」付与率引き上げを実施（2021年4月）
- ・セキュリティトークンを扱うブロックチェーンコンソーシアム『ibet for Fin』の運営開始（2021年4月）
- ・「第3回 SBI証券のiDeCoご紹介キャンペーン」を実施（2021年4月）
- ・買付手数料全額キャッシュバックする春のS株デビューキャンペーンを実施（2021年4月）
- ・FX新規取引高に応じて最大25万円相当の豪華カタログギフトが貰えるキャンペーンを実施（2021年4月）
- ・キャンペーンエントリーされたお客さまに、期間中のお取引（新規・決済）手数料を最大5,000円（税込み）現金還元、デビューのお客さまは最大50,000円（税込み）現金還元するキャンペーンを実施（2021年4月）
- ・キャンペーン期間中に、投資信託を他社（証券会社、銀行など）から入庫したお客さまを対象に、移管元金融機関で支払った出庫手数料を全額還元するキャンペーンを実施（2021年4月）
- ・「個人向け国債キャンペーン」を実施（2021年4月）
- ・スマートフォンアプリ「SBI証券 米国株アプリ」提供開始（2021年4月）
- ・「SBI証券 米国株アプリ」のリリースを記念して、4,000名様に選べるギフト500円分が当たるキャンペーンを実施（2021年4月）
- ・米国株デビューの方限定で期間中の米国株式買付手数料を上限なしで全額キャッシュバックのキャンペーンを実施（2021年4月）
- ・当社で米国株式のお取引経験のある方限定（※2021年4月9日（金）以前）で米国会社四季報をプレゼントするキャンペーンを実施（2021年4月）
- ・株式会社東和銀行との2店舗目となる共同店舗運営開始（2021年4月）
- ・フィデアホールディングス株式会社傘下の株式会社荘内銀行および株式会社北都銀行との入金サービス「リアルタイム入金」提供開始（2021年4月）
- ・「米国リアルタイム株価利用料キャッシュバックキャンペーン」を実施（2021年4月）
- ・募集期間に「SBI国内大小成長株ファンド」を10万円以上お申し込み・買付いただいたお客さまに、抽選で最大5万円が当たるキャンペーンを実施（2021年4月）
- ・国内初となる一般投資家向けセキュリティトークンオファリング（STO）実施（2021年4月）
- ・「ネオ証券化（手数料ゼロ化）」の推進のため、未成年口座のお客さまの国内株式現物手数料を、月間1万円を上限として、実質無料化。また、20～25歳のお客さまの国内株式現物手数料を実質無料化（2021年4月）
- ・「SBIハイブリッド預金 受取利息100倍キャンペーン」を実施（2021年4月）

- ・期間中、クイズに正解すると表示されるURLから、当社公式Twitterをフォロー&リツイートした方のうち、抽選で5,000名様にAmazonギフト券 200円分をプレゼントするキャンペーンを実施（2021年4月）
- ・期間中、投資信託を10,000円以上、SBI証券で購入すると、抽選で5,000名に現金1,000円をプレゼントするキャンペーンを実施（2021年4月）
- ・「新規口座開設で国内株式現物手数料が最大3ヵ月間実質0円キャンペーン」を実施（2021年4月）
- ・主要ネット証券初となる特約付株券等貸借取引のWEB受付開始（2021年4月）
- ・SBI証券カスタマーサービスセンター「口座開設サポートデスク」、土・日曜日の営業開始（2021年4月）
- ・「超CFDゴールデンウィーク！CFD手数料最大10,000円還元」キャンペーンを実施（2021年5月）
- ・キャンペーン期間中にエントリーかつ、米国株式（ETF、ADR含む）を買付いただいたお客さまで、200万円分のTポイントを山分けするキャンペーンを実施（2021年5月）
- ・「S株買付手数料実質0円キャンペーン」を実施（2021年5月）
- ・信用取引をはじめてお取引された方の信用取引手数料を全額キャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年5月）
- ・「米国株式でもTポイントが貯まる！米国株式ポイントプレゼントキャンペーン」を実施（2021年5月）
- ・キャンペーン期間中にキャンペーン対象債券をご購入いただいた方の中から、抽選で600名様に現金1万円をプレゼントするキャンペーンを実施（2021年5月）
- ・株式会社大光銀行との金融商品仲介業サービスおよび共同店舗の運営開始（2021年5月）
- ・IPO・PO取引画面のスマートフォン対応を実施（2021年5月）
- ・個人向け国債キャンペーンを実施（2021年5月）
- ・「最大¥77,700が当たる！「米国株式トレンド・ウォッチ戦略ファンド」設定記念キャンペーン」を実施（2021年5月）
- ・メインサイト全板サービスに新機能「BRISK for SBI証券」を導入（2021年5月）
- ・暗号資産を対象とするeワラント第3弾「暗号資産先物インデックスストラッカー」提供開始（2021年5月）
- ・島根県にカスタマーサービスセンターを新設（2021年6月）
- ・「債券マイレージキャンペーン」を実施（2021年6月）
- ・キャンペーン期間中にはじめてCFD口座を開設し、キャンペーンにエントリーされたお客さまに、期間中のお取引（新規・決済）手数料を最大10,000円（税込み）現金還元するキャンペーンを実施（2021年6月）
- ・キャンペーン期間中にエントリーをし、国内株式をはじめてお取引されたお客さまに、6月株主優待銘柄の現物取引手数料をキャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年6月）
- ・「個人向け国債キャンペーン」を実施（2021年6月）
- ・キャンペーン期間中の米国株式（ETF、ADR含む）のお取引（買い・売り）に係る取引手数料の1%分のTポイントをプレゼントするキャンペーンを実施（2021年6月）
- ・低コストインデックスファンド「SBI・Vシリーズ」の新設および新ファンド募集開始（2021年6月）
- ・募集期間中に対象ファンドを10万円以上申し込み、約定した方の中から、抽選で現金をプレゼントするキャンペーンを実施（2021年6月）
- ・キャンペーン期間中に、投資信託を他社（証券会社、銀行など）から入庫したお客さまを対象に、移管元金融機関で支払った出庫手数料を全額負担するキャンペーンを実施（2021年6月）
- ・キャンペーン期間中にレオス・キャピタルワークスが運用する「ひふみ」シリーズを買付し、条件を満たしたお客さまの中から抽選で1,000名様に『14歳の自分に伝えたい「お金の話」』をプレゼントするキャンペーンを実施（2021年6月）
- ・別所哲也さんが出演するSBI証券の新TVCM、「NISA口座数No.1 SBI証券」篇、「iDeCo加入者数No.1 SBI証券」篇、「取引シェアNo.1 SBI証券」篇をYouTubeで先行公開（2021年6月）
- ・「PO（公募増資・売出）やるならNISAで！2,000名さまに期間固定Tポイント300ptが当たる」キャンペーンを実施（2021年6月）
- ・三井住友カードとクレジットカード決済による投信積立サービスを開始（2021年6月）
- ・三井住友カードが発行したVポイントが貯まるカードで、キャンペーン期間中に投信積立を行ったお客さまに、Vポイントの付与率を一律1.0%引き上げる「スタートダッシュキャンペーン」を実施（2021年6月）
- ・SBI証券と三井住友カードの資産運用サービス開始に併せ、三井住友カード プラチナカード、三井住友カード ゴールドカードなどの対象カードをご利用のお客さまを対象に、Vポイント付与率を通常0.5%のところ、ゴールドカードでは1.0%、プラチナカードでは2.0%へアップする「つみたて投資ポイントアッププラン」を開始（2021年6月）
- ・三井住友カードの金融商品仲介サービスにより、対象となるお客さまに、SBI証券における国内株式等の手数料や投資信託の保有残高に応じて、Vポイントが付与される「SBI証券 Vポイントサービス」を開始（2021年6月）

- ・新たに証券総合口座を開設したお客さまを対象に、土・日曜日のコールバック予約受付開始（2021年6月）
- ・業界最低水準となる金・銀・プラチナ取引手数料の引き下げと、取引手数料最大5,000円をキャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年7月）
- ・「米国リアルタイム株価」の無料利用条件の設定および利用料金の引き下げを実施（2021年7月）
- ・証券総合口座開設後最大2カ月間の米国株式の市場への通常注文時の取引手数料を無料とするキャンペーンを実施（2021年7月）
- ・新規で証券総合口座を開設した方に、クイズに答えて最大2,000円プレゼントするキャンペーンを実施（2021年7月）
- ・期間中にエントリーし、指定数量以上の新規取引をされた方に最大30万円相当の豪華カタログギフトをプレゼントするキャンペーンを実施（2021年7月）
- ・「個人向け国債キャンペーン」を実施（2021年7月）
- ・キャンペーン期間中に、エントリーかつ米国株式・ETF定期買付サービスを利用し買い付けいただいた方全員に、買い付け時に発生した1注文あたりの最大取引手数料が1米ドル（税込1.1米ドル）となるようにキャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年7月）
- ・不動産ST0の募集を開始し、国内初募集を記念して対象商品を購入された方、全員にXRPをプレゼントするキャンペーンを実施（2021年7月）
- ・CFD（くりっく株365）全銘柄について、エントリーされた方に、期間中のお取引（新規・決済）手数料を最大10,000円（税込）キャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年7月）
- ・国内株式を合計で1,000万円以上入庫された方に、対象期間中の信用金利（買方）を優遇するキャンペーンを実施（2021年7月）
- ・株式委託手数料および「日計り信用」買方金利・貸株料の年率0%枠の引き下げを実施（2021年7月）
- ・iDeCoの書類返送/WEB申込完了で、もれなく100円分のAmazonギフト券プレゼントするキャンペーンを実施（2021年7月）
- ・株式会社徳島大正銀行との共同店舗の運営及び金融商品仲介業サービスを開始（2020年7月）
- ・CFD（くりっく株365）全銘柄について、エントリーされた方に、期間中のお取引（新規・決済）手数料を最大10,000円（税込）キャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年7月）
- ・高島屋大阪店にて新たに「タカシマヤ ファイナンシャル カウンター」を展開し、金融サービスの提供を開始（2021年7月）
- ・人民元/円、ロシアルーブル/円、ブラジルリアル/円のスプレッド縮小キャンペーンを実施（2021年7月）
- ・簡単な質問に答えるだけで最適な投資プラン（資産配分）を実現するバランスファンドを提案する「おてがる投資 powered by PORTSTAR」の提供を開始（2021年7月）
- ・SBI証券を紹介して新規で口座開設いただくと、1人あたり5,000ポイント、最大で50,000ポイントのギフトポイントがもらえる、「LINEでかんたんお友だち紹介キャンペーン！」を実施（2021年8月）
- ・「最大1万円！購入金額の20%がポイントでもらえる！『つみたて投資』はじめようキャンペーン」を実施（2021年8月）
- ・これまで一度も当社で対象ファンドのお取引がないお客さまのうち、キャンペーンにエントリーの上、対象期間中に対象ファンドの積立買付額の合計が20,000円以上となった方に抽選で現金をプレゼントするキャンペーンを実施（2021年8月）
- ・キャンペーン期間中にエントリーをしたお客さまにS株買付手数料を全額キャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年8月）
- ・キャンペーン期間中にキャンペーンにエントリーされた方に、期間中の先物・オプション取引手数料を取引合計枚数に応じて最大5,000円をキャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年8月）
- ・キャンペーン期間中にお客さま情報を登録し、9月優待銘柄の現物取引を2回以上されたお客さまの中から抽選で500名さまにAmazonギフト券1,000円分をプレゼントするキャンペーンを実施（2021年8月）
- ・対象期間中に金・銀・プラチナについて新規定額積立設定&積立金額増額設定で買付手数料を全額キャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年8月）
- ・「個人向け国債キャンペーン」を実施（2021年8月）
- ・1人あたり最大50万円！5名さまにお好きな商品・サービスをプレゼントする、「預かり資産20兆円突破！みなさまに大感謝キャンペーン」を実施（2021年8月）
- ・「資産残高」「実現損益」「資産推移」「配当/分配金」の一覧表示で保有資産をまとめて確認可能となる、資産管理ツール「My資産」の提供を開始（2021年8月）
- ・株式会社三十三銀行と共同店舗の運営を開始（2021年8月）
- ・横浜高島屋にて新たに「タカシマヤ ファイナンシャル カウンター」を展開し、金融サービスの提供を開始（2021年9月）

- ・キャンペーン期間中にお客さま情報の登録をし、9月優待銘柄の現物取引を2回以上されたお客さまの中から抽選で500名さまにAmazonギフト券1,000円分をプレゼントするキャンペーンを実施（2021年9月）
- ・対象期間中に金・銀・プラチナについて新規定額積立設定&積立金額増額設定で買付手数料を全額キャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年9月）
- ・キャンペーン期間内に、エントリーかつ外国株式取引口座を開設いただいたお客さまにもれなくTポイントを100ポイントプレゼントするキャンペーンを実施（2021年9月）
- ・投資信託を保有しているお客さま限定で、定期買付で米国株式デビューいただくと、お一人さま200ptを上限として、Tポイント200万円分を山分けするキャンペーンを実施（2021年9月）
- ・対象期間中にエントリーし、更にキャンペーン対象債券をご購入いただいた方を対象に抽選で1,500名様に総額600万円の現金をプレゼントするキャンペーンを実施（2021年9月）
- ・「個人向け国債キャンペーン」を実施（2021年9月）
- ・エントリーをした方に、期間中の金ETF（リセット付）・原油ETF（リセット付）の新規取引手数料を最大10,000円（税込）キャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年9月）
- ・インターネットコースの個人のお客さまで、対象期間中にエントリーをし、はじめて信用取引をされる方、又は一年以内に信用取引されなかった方の信用取引手数料をキャッシュバック（上限5,000円）するキャンペーンを実施（2021年9月）
- ・「米国会社四季報」最新版を、抽選で250名さまにプレゼントするキャンペーンを実施（2021年9月）
- ・「最大5万円分のAmazonギフト券が当たる&WEB申込ならさらに必ず100円分！iDeCo50万口座一番乗りキャンペーン」を実施（2021年9月）
- ・期間中にエントリーの上、対象のブラックロック社iシェアーズ中国株式ETF（米国ETF1銘柄、香港ETF3銘柄）をインターネット経由で買付いただいたお客さまに、買付にかかった取引手数料を全額キャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年9月）
- ・公式YouTubeチャンネル「ビジネスドライブ！」を開設（2021年10月）
- ・キャンペーン期間中にNISAまたはつみたてNISAの金融機関変更を完了されたお客さまのうち、抽選で1,000名様に2,000円が当たるキャンペーンを実施（2021年10月）
- ・キャンペーン期間中にSBI・Vシリーズの対象ファンドのいずれかと、「iFreeNEXT NASDAQ100インデックス」または「iFreeレバレッジ NASDAQ100」のどちらかを積立で購入して、積立買付額の合計が3万円以上となった方の中から抽選で最大現金10万円をプレゼントするキャンペーンを実施（2021年10月）
- ・キャンペーン期間中にエントリーをしたお客さまの先物・オプション取引手数料を最大5,000円キャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年10月）
- ・「証券投資の日」にあわせて『投資信託10万円以上のご購入で104名様に1万円が当たる！』キャンペーンを実施（2021年10月）
- ・はじめてCFD口座開設し、お取引いただいたお客さまの手数を最大10,000円キャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年10月）
- ・「個人向け国債キャンペーン」を実施（2021年10月）
- ・キャンペーン期間中に投資信託を他社から入庫したお客さまを対象に、移管元金融機関で支払った出庫手数料を全額負担するキャンペーンを実施（2021年10月）
- ・キャンペーン期間中に国内株式を合計で1,000万円以上入庫された方の信用金利を優遇するキャンペーンを実施（2021年10月）
- ・株式会社足利銀行と提携し、入金サービス「足利銀行 リアルタイム入金」の提供を開始（2021年10月）
- ・米国株式ETFにちなみクイズ3問に正解した方の中から、抽選でETFの総合解説書「ETF大全」を20名様、NEXT FUNDSオリジナルマスクを40名様、オリジナル折りたたみエコバッグを40名様にプレゼントするキャンペーンを実施（2021年10月）
- ・お客さまのセキュリティ強化を目的として、パスワード等に加えてお客さまのスマートフォンに登録された本人確認情報を利用する多要素認証「FIDO(スマホ認証)」の提供を開始（2021年10月）
- ・Pontaポイントがたまる・つかえる「Ponta ポイントサービス」を開始（2021年11月）
- ・単元未満株（S株）の買付手数料の实质無料化を実施（2021年11月）
- ・期間中の月間平均保有金額に応じて貯まるポイントの付与率が通常の約2倍になるキャンペーンを実施し、当該キャンペーン終了後の2022年1月からは現行のポイント付与率から25%~50%の恒常的な引き上げを実施（2021年11月）
- ・キャンペーン期間中、CFD全銘柄のお取引手数料を最大5,000円還元（キャッシュバック）するキャンペーンを実施（2021年11月）
- ・キャンペーン期間中に対象のお客さまが、米国株アプリ経由で米国株式を「円貨決済」指定で買付いただくと、買付にかかった手数料を全額キャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年11月）

- ・インターネットコースの個人のお客さまで、対象期間中にエントリーをし、一般信用「日計り信用取引」における新規建約定代金が、期間中に1日でも一定の条件を満たされた方に対し、現物手数料及び信用手数料をキャッシュバック（上限1万円）するキャンペーンを実施（2021年11月）
- ・株主優待投資に役立つ情報が満載のSBI証券オリジナル卓上カレンダーを、抽選で700名さまにプレゼントするキャンペーンを実施（2021年11月）
- ・「秋の祝日大感謝祭！FXキャッシュバックキャンペーン！」を実施（2021年11月）
- ・「個人向け国債キャンペーン」を実施（2021年11月）
- ・キャンペーン期間中に、ブラックロック社の米国上場ETFを「米国株式・ETF定期買付サービス」を利用して買付した方全員に、買付時に発生した取引手数料を全額キャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年11月）
- ・「レオス・キャピタルワークス運用資産残高1兆円突破記念キャンペーン」を実施（2021年11月）
- ・当社公式Twitterアカウント「フォロー&リツイート」をすると抽選で3,500名様に200円分のえらべるギフトが当たるキャンペーンを実施（2021年11月）
- ・株式会社佐賀銀行の100%子会社である株式会社佐銀キャピタル&コンサルティングと金融商品仲介業に関して提携し、金融商品・サービスの提供を開始（2021年11月）
- ・三井住友カード株式会社の会員向け「Vpassアプリ」に、SBI証券の口座連携機能を追加（2021年12月）
- ・キャンペーン期間中、原油ETFリセット付証拠金取引のお取引手数料を最大5,000円還元（キャッシュバック）するキャンペーンを実施（2021年12月）
- ・お客さま情報の登録+対象銘柄のお買付に対してお支払いいただいた現物取引手数料合計額（税込）に応じて抽選でAmazonギフト券や豪華カタログギフトなどが貰えるキャンペーンを実施（2021年12月）
- ・「最大5万円！FXキャッシュバックキャンペーン！」を実施（2021年12月）
- ・キャンペーン期間中にエントリー&合計100米ドル以上のDirexion社ETFを買付いただいたお客さまのなかから、抽選で1口500円、最大20口1万円分のAmazonギフト券を、総額30万円分プレゼントするキャンペーンを実施（2021年12月）
- ・キャンペーン期間中に対象のサステナビリティボンドをご購入いただいたお客さまを対象に、最大1万円をプレゼントするキャンペーンを実施（2021年12月）
- ・「個人向け国債キャンペーン」を実施（2021年12月）
- ・キャンペーン期間中に、アンケート回答+三菱UFJ国際投信のETF「MAXIS」（7銘柄）をお取引した方のうち、先着5,000名様にTポイント（SBI証券限定Tポイント）200ポイントをプレゼントするキャンペーンを実施（2021年12月）
- ・株式会社400Fが提供する、お金のオンラインチャット相談プラットフォーム「お金の健康診断」と連携し、「お金の健康診断 for SBI証券」の提供を開始（2021年12月）
- ・「指数に関するクイズに答えてオリジナルマスクを当てよう！」キャンペーンを実施（2021年12月）
- ・「SBI証券 米国株アプリ」で大型アップデートを行い、米国の市場ランキングを確認できる「米国市場ランキング」、米国企業の決算情報をグラフやアイコンなどで視覚的に確認できる「ビジュアル決算」、企業ごとに関連ニュースを確認できる「銘柄ニュース」といった新しいサービスの提供を開始（2021年12月）
- ・キャンペーン期間中に対象のお客さまが米国株アプリ経由で米国株式を「円貨決済」指定で買付いただくと、買付にかかった手数料を全額キャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年12月）
- ・国内初となる7種類の暗号資産に投資を行う一般投資家向けの「SBI暗号資産ファンド（匿名組合1号）」の取扱いを開始（2021年12月）
- ・「最大10万円分のAmazonギフト券が当たる！&もれなく100円分のAmazonギフト券がもらえる！」Wキャンペーンを実施（2021年12月）
- ・「米国株アプリをダウンロードして当てよう！抽選で合計3,000名様にえらべるギフト500円分プレゼント！」キャンペーンを実施（2021年12月）
- ・キャンペーンエントリーされたお客さまに、期間中の取引手数料を最大5,000円（税込み）キャッシュバックするキャンペーンを実施（2021年12月）
- ・対象アクティブファンド11本の情報を配信する専用サイトを新たに立ち上げ、ファンドマネージャーからのメッセージやファンドに関するタイムリーな情報を配信し、長期的な資産形成に取り組んでいただくためのファンド選びをサポートする「SBIプレミアムチョイス」の提供を開始（2021年12月）

また、業績の概要は以下のとおりであります。

(受入手数料)

当第3四半期連結累計期間は56,524百万円(前年同期比10.5%増)を計上しておりますが、その内訳は以下のとおりであります。

・委託手数料

主にインターネットによる株式取引により30,088百万円(同7.6%減)を計上しております。

・引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料

株式及び債券の引受け等により3,064百万円(同69.7%増)を計上しております。

・募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料

引き受けた株式の販売等により3,258百万円(同23.8%増)を計上しております。

・その他の受入手数料

投資信託の代行手数料等により20,113百万円(同42.2%増)を計上しております。

(トレーディング損益)

FX収益、外債販売に係る収益及び暗号資産取引収益等により35,242百万円(前年同期比3.7%減)を計上しております。

(金融収支)

信用取引の増加により「金融収益」は33,291百万円(前年同期比16.9%増)、「金融費用」は4,707百万円(同17.9%減)となりました。その結果、金融収支は28,583百万円(同25.7%増)となっております。

(販売費及び一般管理費)

当第3四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は72,483百万円(前年同期比14.2%増)となりました。これは、広告宣伝費の増加により「取引関係費」が18,058百万円(同32.1%増)となったこと及び金融商品仲介業者へ支払う手数料の増加により「事務費」が20,644百万円(同11.0%増)となったこと等によるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	479,301	327,788
預託金	2,199,256	2,133,968
顧客分別金信託	1,952,297	1,881,888
その他の預託金	246,959	252,080
トレーディング商品	140,633	129,800
商品有価証券等	87,064	71,529
デリバティブ取引	53,569	58,271
約定見返勘定	21,822	18,565
信用取引資産	1,005,275	1,090,474
信用取引貸付金	887,456	1,020,882
信用取引借証券担保金	117,819	69,591
有価証券担保貸付金	92,427	100,323
借入有価証券担保金	86,536	97,958
現先取引貸付金	5,890	2,365
立替金	641	416
短期差入保証金	109,156	68,549
支払差金勘定	274	83
関係会社短期貸付金	—	10,000
前払費用	1,627	1,845
未収収益	12,302	14,067
その他	139,855	160,682
貸倒引当金	△673	△688
流動資産合計	4,201,901	4,055,878
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,340	3,244
工具、器具及び備品（純額）	3,192	2,613
土地	3,199	3,199
リース資産（純額）	1,091	1,204
有形固定資産合計	10,824	10,262
無形固定資産		
借地権	0	0
ソフトウェア	13,247	14,295
ソフトウェア仮勘定	4,851	7,206
リース資産	91	21
その他	1,536	1,387
無形固定資産合計	19,726	22,911
投資その他の資産		
投資有価証券	2,046	6,610
出資金	16	15
長期差入保証金	2,332	2,277
長期前払費用	334	535
繰延税金資産	7,853	7,403
その他	8,705	8,121
貸倒引当金	△2,051	△2,065
投資その他の資産合計	19,237	22,899
固定資産合計	49,788	56,073
資産合計	4,251,690	4,111,951

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	51,261	54,620
商品有価証券等	29,154	33,782
デリバティブ取引	22,106	20,838
信用取引負債	385,405	291,443
信用取引借入金	122,943	94,184
信用取引貸証券受入金	262,462	197,259
有価証券担保借入金	602,920	521,960
有価証券貸借取引受入金	584,520	469,660
現先取引借入金	18,400	52,300
預り金	1,337,898	1,442,551
受入保証金	910,917	931,657
有価証券等受入未了勘定	33	175
短期社債	-	13,999
短期借入金	577,100	367,500
1年内償還予定の社債	11,160	11,755
リース債務	563	600
未払金	15,058	9,935
未払費用	7,111	6,896
未払法人税等	4,551	1,759
前受金	4,378	8,050
賞与引当金	143	139
その他	38,019	48,297
流動負債合計	3,946,524	3,711,344
固定負債		
社債	59,580	76,400
長期借入金	-	48,000
リース債務	1,087	1,124
長期預り保証金	144	106
資産除去債務	762	780
固定負債合計	61,574	126,411
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	10,856	10,884
特別法上の準備金合計	10,856	10,884
負債合計	4,018,955	3,848,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,323	48,323
資本剰余金	67,176	66,701
利益剰余金	112,579	143,259
株主資本合計	228,078	258,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	24
為替換算調整勘定	53	575
その他の包括利益累計額合計	63	600
非支配株主持分	4,592	4,426
純資産合計	232,735	263,310
負債純資産合計	4,251,690	4,111,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業収益		
受入手数料	51,155	56,524
委託手数料	32,576	30,088
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	1,805	3,064
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	2,631	3,258
その他の受入手数料	14,141	20,113
トレーディング損益	36,592	35,242
金融収益	28,470	33,291
その他の営業収益	55	40
営業収益計	116,273	125,099
売上原価		
金融費用	5,733	4,707
その他	2,289	2,378
売上原価合計	8,022	7,085
純営業収益	108,251	118,013
販売費及び一般管理費		
取引関係費	13,672	18,058
人件費	14,123	14,780
不動産関係費	7,047	8,366
事務費	18,602	20,644
減価償却費	4,386	4,718
租税公課	1,708	1,847
貸倒引当金繰入れ	218	30
その他	3,707	4,035
販売費及び一般管理費合計	63,466	72,483
営業利益	44,784	45,529
営業外収益		
受取利息	158	133
受取配当金	4	8
投資事業組合運用益	10	7
補助金収入	94	55
その他	72	94
営業外収益合計	341	299
営業外費用		
支払利息	8	42
為替差損	311	134
投資事業組合運用損	3	0
その他	6	9
営業外費用合計	330	187
経常利益	44,795	45,642

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	—	2
関係会社株式売却益	6,149	—
金融商品取引責任準備金戻入	728	—
その他	237	—
特別利益合計	7,115	2
特別損失		
固定資産除却損	72	23
固定資産売却損	—	21
減損損失	25	—
金融商品取引責任準備金繰入れ	—	27
その他	3	—
特別損失合計	101	73
税金等調整前四半期純利益	51,809	45,571
法人税、住民税及び事業税	14,339	13,779
法人税等調整額	232	388
法人税等合計	14,572	14,167
四半期純利益	37,236	31,403
非支配株主に帰属する四半期純利益	136	723
親会社株主に帰属する四半期純利益	37,099	30,680

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	37,236	31,403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	14
為替換算調整勘定	△102	523
その他の包括利益合計	△97	538
四半期包括利益	37,139	31,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,003	31,216
非支配株主に係る四半期包括利益	136	725

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

①収益認識に関する会計基準等の適用

当社は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしました。

これにより、キャンペーン実施の際に顧客に現金等をキャッシュバックするもののうち、取引手数料等に応じて贈呈されるものについては当該対価の総額から顧客に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、利益剰余金の当期首残高への影響はございません。

当該変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

②時価の算定に関する会計基準等の適用

当社は「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)及び「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準第31号 2019年7月4日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。

当該変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。